

給水装置修繕費用取扱い要綱

平成17年 4月 1日実施
(平成22年 4月 1日改定)
(平成22年 7月15日改定)
(平成25年 2月25日改定)
(平成28年 4月 1日改定)

(趣旨)

第1条 この要綱は、松江市水道給水条例（以下「条例」という。）第20条第2項のただし書きに基づき、松江市上下水道局（以下「局」という。）が負担することができる修繕費用の取扱い等について定める。

(局が負担できる修繕費用)

第2条 局が負担できる修繕費用は次の各号に規定する給水装置の老朽、腐食に起因する漏水、閉塞及び機能低下の修繕費用とし、局が施工する。

- ① 配水管分岐部から条例第16条第1項及び第2項に規定する水道メーター（以下「メーター」という。）までの給水管の修繕。ただし、敷地内の修繕については官民境界からメーターまでの給水管路の水平距離が概ね2m以上の場合はメーターを官民境界から給水管路の水平距離1m付近に移設することを条件に施工する。
- ② 給水管に設置するメーター直結止水栓の閉栓不良及び漏水による取替。
- ③ メーター直結止水栓の取替に伴い、メーターボックス内に納まっていたものが納まらなくなった場合のメーターボックスの取替。
- ④ メーターパッキンの取替。
- ⑤ メーターから邸内側50cm程度の鉛管の取替。

2 敷地内の給水管路の復旧については原則発生土埋め戻し、常温合材又はモルタルによる簡易復旧とし、構造物及び、植栽等の移設工事並びにその復旧費については所有者又は使用者等（以下「所有者等」という。）の負担とする。

3 給水装置の漏水により、二次災害が想定される場合は所有者等の許可を得ずに修繕工事を行うことができる。

4 国、県、市が所有する施設等の敷地内の修繕については、条例第20条第2項のただし書きを適用しない。

5 故意もしくは過失により給水装置の修繕が必要となった場合は、条例第20条第2項のただし書きを適用しない。

(給水装置の更新)

第3条 前条第1項に規定する修繕工事において、漏水を繰り返すことが想定される場合及び構造物等が支障となり修理が不可能な場合は、局において給水装置を更新できるものとする。ただし、その工事費の内、敷地内で使用した材料費については所有者等の負担とする。

2 第2条の規定は、前項の更新について準用する。この場合において「修繕」とあるのは「更新」と読み替えるものとする。

(その他)

第4条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、管理者が別に定める。